

実施計画事業名		介護保険運営事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		生活福祉部介護高齢課		課長(主幹)名	山崎 智			
総合計画体系	分野	2	保健・医療・福祉					
	政策	3	支え合いだれもが安心して暮らせるまちづくり					
	施策	4	暮らしを支える諸制度を適正に運用します					
	関連施策							
現状と課題	介護保険制度は、介護を社会全体で支え合う制度として定着し、サービス提供の基盤も充実してきていることから、高齢者介護のあり方に大きな変革をもたらしたが、65歳以上の高齢者人口の増加から、要介護認定者数の増加や介護サービス給付費の増大などの課題も生じている。また、3年毎に介護報酬や制度そのものの改正が行われており、市は保険者としてこれらの動向に対応しながら持続可能な制度として適正な運営を行っていく必要がある。							
目的	介護保険制度の適正な運営により、高齢化や核家族化の進展等に対応し、要介護者を社会全体で支えていく							
施策展開の	第4期稚内市介護保険事業計画(H21～H23)に基づき、適正な保険給付を行うための取組、保険料の賦課徴収など、介護保険制度の円滑な運営を行っていく。 給付費の推計、保険料の算定、基盤整備等の基本となる介護保険事業計画は、3年毎に策定が必要であり次期計画の始期が平成24年度となるが、実態把握や給付分析、利用者からの意見の聴取などを経て、適切に策定作業を実施する。							
成果指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	介護保険料収納率		%	目標	98.3	98.3	98.3	
	説明	現年度分介護保険料の収納率(第1号被保険者)		実績	98.4	98.8		
活動指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	介護保険運営協議会の開催回数		回	目標	5	5	5	
		説明	1年間に開催した会議の回数		実績	4	6	
	介護サービス事業者等への研修開催回数		回	目標	2	2	2	
		説明	サービス提供事業者やケアマネジャーを対象とした研修会の開催回数		実績	0	1	
	地域密着型サービス事業者に対する実地検査等の実施件数		件	目標	5	5	8	
		説明	地域密着型サービス事業者に対して実施した実地指導、監査の実施件数(延べ)		実績	3	7	
事業費の実績		単位	22年度 (決算)	23年度 (評価年度決算見込)	24年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	3,762	3,555	6,441		
	国庫支出金		千円	126	179	956		
	道支出金		千円	63	89	478		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	749	892	629		
	一般財源		千円	2,824	2,395	4,378		
	この事業にかかる職員数		人/年	1.51	1.21	1.21		
人件費(B)		千円	10,254	8,414	8,414			
計(A+B)		千円	14,016	11,969	14,855			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 高齢者人口については、平成22年 9,516人(高齢化率24.0%)→平成23年 9,619人(高齢化率25.1%)と増加している。要支援介護の認定者は、平成22年度末1,419人→平成23年度末1,433人前後で増加傾向であり、特に新規認定者が増加の伸びが大きい。保険給付費は、認定者数と比例し増加している。現状では、第4期計画の予測している給付費が若干下回り大きな乖離はみられていない。							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<b>a</b> a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
コスト効率	<b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	<b>A</b> 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 第4期稚内市介護保険事業計画(平成21~23年度)については、計画期間内に整備を予定していた地域密着型の有料老人ホームが、整備希望事業者がいなかったことにより開設に至らなかったが、概ね計画どおりに進めることができた。 第5期計画(平成24~26年度)については、平成27年における高齢者支援のあるべき姿を念頭におき、介護保険制度の持続性の確保、明るく活力ある高齢社会の構築を目指し、計画策定をしたところであり、第4期計画に引き続き個別事業等の充実を図っていくとともに、切れ目のないサービス提供が行えるよう、地域住民、関係団体等との協働体制のもと、「地域包括ケア」の推進に努めていく。

【2次評価】

成 果	<b>a</b>	細事業の構成	<b>a</b>	細事業の進め方	<b>a</b>	コスト効率	<b>a</b>
総合評価	<b>A</b> 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 制度の周知方法について検討する。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--